

富士箱根伊豆国立公園

富士箱根伊豆国立公園は、「日本の優れた自然の風景地」を保護することを目的とした自然公園法が初めて通過したわずか5年後に1936年に指定されました。これにより、富士箱根伊豆国立公園は、国内で最も古い国立公園のひとつということになります。今日では1億人以上の来訪者が毎年訪れています。

富士五湖、青木ヶ原樹海と卓越した富士山で構成されているこの公園の中では、富士山エリアが最大です。このエリアには自然の遊歩道や歴史的史跡がたくさんあります。そのため、子供でも楽しめる風光明媚な散歩を手軽に楽しみたい家族連れから、新たな挑戦を求めている経験豊かなハイカーまで、誰でも何か楽しめるものがあります。

有名な吉田登山道は、五合目から山頂に向かって伸びています。富士山の裾野にも、神社、ホテル、それに富士五湖で巡礼者の宿として使われていた建物などに通じる遊歩道が張り巡らされています。急峻な山道のような遊歩道もあれば、より平坦な遊歩道もあります。密林をくねくねと巡る遊歩道もあれば、よりひらけた場所を通る遊歩道もあります。森林限界に沿った遊歩道もあり、眼下には息を呑む景色が広がります。何世紀も前に巡礼者が訪れたことを示す石碑があちこちに見られます。

標高が高いため、公園内の空気は新鮮でひんやりしています。そのため、よりアウトドアなレクリエーションを楽しむのにぴったりです。富士五湖では、カヌー、SUP ボーディングやウインドサーフィンなどの水のスポーツを楽しむことができます。一部の湖では穏やかな環境を保護するためジェットスキーや、その他のエンジン駆動の船などが禁止されています。

訪問者はどこを巡っても富士山を常に見ることができます。堂々とそびえ立つようでありながら、まるで手に触れられるかのように近くに感じることができるのです。国内にはこの他にこのような壮観な景色の中でアウトドアを満喫できる場所はほとんどありません。